

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 13 日 (2014.2.13)

【公表番号】特表 2013-545858 (P2013-545858A)

【公表日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2013-069

【出願番号】特願 2013-543487 (P2013-543487)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/12 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 53/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/32 (2006.01)

C 0 8 K 5/52 (2006.01)

C 0 8 K 5/49 (2006.01)

C 0 8 K 5/3477 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/12

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 53/02

C 0 8 K 3/32

C 0 8 K 5/52

C 0 8 K 5/49

C 0 8 K 5/3477

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 20 日 (2013.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A .

1 . 5 ～ 45 重量パーセントのポリプロピレン、および

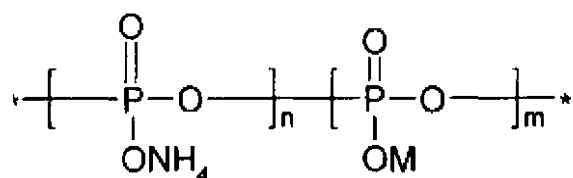
2 . (A) (1) のポリプロピレン以外の 5 ～ 80 重量パーセントの熱可塑性エラストマー (T P E)

を含むポリマーブレンドと、

B .

1 . 式 1

【化 7】

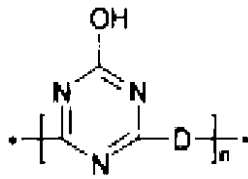


(1)

[式中、Mはメラミン、モルホリン、ピペラジン、ピペリジン、アルキルヒドロキシルおよび

式 2

【化 8】



(2)

のトリアジンポリマーの少なくとも1つである

(式中、Dはヘテロ環式部分またはポリアミン部分であり、mおよびnは独立して整数であり、その合計 (m + n) は1 0 0 0未満である)] の化合物、または

2 . リン酸ピペラジン

の少なくとも1つを含む、

1 ~ 7 0 重量パーセントの発泡性難燃剤と

を含む組成物。

【請求項 2】

(A) (1) のポリプロピレンが耐衝撃性改質ポリプロピレンであり、T P E がスチレンブロックコポリマー、エチレン系エラストマーまたはプラストマー、エチレンブロックコポリマー、およびプロピレン系プラストマーまたはエラストマーの少なくとも1つである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

発泡性難燃剤が、1つまたは複数のハロゲンフリーの有機ホスホン酸、ホスホネート、ホスフィネート、ホスホニト、ホスフィニト、ホスフィンオキシド、ホスフィン、ホスフィット、ホスフェート、窒化リン物、リンエステルアミド、リン酸アミド、ホスホン酸アミド、ホスフィン酸アミド、メラミンおよびメラミン誘導体、ペンタエリトリール、イソシアヌル酸トリグリセリド、ノボラック、ならびに金属酸化物または金属塩をさらに含む、請求項 1 または 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の組成物から作製される、ワイヤまたはケーブル用シース。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のシースを含む、ワイヤまたはケーブル。